

## 症 例 報 告 (がん領域)

通し番号		患者年齢	63 歳	患者性別	男・女	入院・外来
がん種	胃がん			治療内容	化学療法・支持療法・緩和ケア	
自ら薬学的管理に関与した期間および回数 (開始年月日～終了年月日・回数)				期間(西暦)	2020 年 6 月 1 日～2020 年 12 月 20 日	
				回数	11 回 (内 フォローアップ 6 回)	
患者背景	【自らの薬学的管理までの経過】 進行胃がんと診断され、1次治療としてSOX療法が開始され、服薬指導、テレフォンプォローアップを開始することとなった。					
	【病歴】 高血圧					
	【社会・生活歴(嗜好品含む)】 会社職員、趣味ゴルフ、妻(同居)、長男(別居)					
	【家族歴】 祖父：胃がん					
	【薬学的管理開始時の処方内容】 SOX療法 (S-1 120mg/day、L-OHP 170mg) プロクロルペラジン錠 5mg 1回1錠 吐き気時					
薬学的管理の要約	【他科受診・併用薬】 オルメサルタン メドキシミル 20 mg 1回1錠 1日1回 朝食後 酸化マグネシウム 330 mg 1回1錠 1日3回 毎食後 便秘時					
	進行胃がんの1次治療としてSOX(S-1 120mg/day、L-OHP 170mg)療法開始により介入を開始。特記すべき既往歴はなし。Cycle1 Day5にテレフォンプォローアップ(電話)を実施し、食欲不振 Grade1、倦怠感 Grade1、便秘 Grade1を確認した。普段の排便は良好のため、抗がん薬の前投薬で使用されたパロノセトロンの影響と考え、手持ちの酸化マグネシウム錠の服用を指導した。Cycle2 Day1、便秘は酸化マグネシウムの服用で改善、吐き気に対してプロクロルペラジンが頓服から定時内服となった。Cycle2 Day4に電話すると食欲不振 Grade2、倦怠感 Grade1、末梢性感覚ニューロパチーGrade1の発現を認めた。トレーシングレポートにて食事が十分に摂取出来ない時のためにエンシュアリキッドの処方を推奨した。患者には食欲低下が回復しない場合や悪化する場合は病院へ連絡する様に指導した。Cycle 3 day1 食欲不振 Grade 1 に改善しており、S-1 が 1 段階減量(100 mg/day)で開始となった。エンシュアリキッドの処方も確認された。Cycle3 Day7 に電話すると倦怠感 Grade 2、1日中横になっている事が多いとの訴えがあり、生活への影響が生じていると判断、処方医に確認し、S-1 は休薬となった。Day10、医師から患者への電話により倦怠感 Grade1 に改善したため S-1 は day 14 まで再開された。Cycle4 Day 6 に電話すると食欲不振、倦怠感 Grade 1 の軽微であることを確認。Cycle 5 以降は S-1 同量、オキサリプラチン 80 mg/m <sup>2</sup> (140 mg)に減量され継続中である。					
文献等						